

『駅機能のあり方勉強会』の実施について

～第二弾として、みらい平駅を対象に勉強会を開催します～

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長:渡邊 良、本社:東京都千代田区)は、地域の顔としての役割を持ち、まちづくりにおいて重要な役割を担う「駅」の将来像について、多様な視点から考える『駅機能のあり方勉強会』を、下記のとおり「みらい平駅」をテーマに実施いたします。

記

1. 名 称 : つくばエクスプレス駅機能のあり方勉強会(みらい平駅編)
2. 開催目的 : (1)地域の顔でもある「駅」にスポットを当て、駅機能および駅まち地域のあり方について、幅広い見地を得ながら検討と議論を行い、その方向性を取りまとめることで、当社がより深く地域に根付き、皆さまで愛される鉄道として、沿線のまちづくりとともに発展していくことや TX 沿線のさらなるブランド価値の向上を目的とし実施いたします。
(2)今回は、第一弾の「つくば駅」に続く第二弾として、沿線でも人口増加が著しく、今後の成長が期待される「みらい平駅」をテーマに開催し、地域とともに将来の駅のあり方の検討を行います。

3. 委 員 : 【有識者】

(敬称略)	岡本 直久	筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授
	藤井 さやか	筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授
	三重野 真代	武蔵野大学 経営学部 経営学科 特任教授
	芳野 まい	東京成徳大学 経営学部 経営学科 准教授
	伊藤 香織	東京理科大学 創域理工学部 建築学科 教授
	諸星 賢治	合同会社 MoDip 代表
	太田 雅文	合同会社 TOD まちづくり総研 代表
	望月 明彦	日本大学 客員教授

その他関係自治体など

4. 開催日程：第1回勉強会

日 時：2026 年 10 月 26 日(月)および 28 日(水)

議 題：駅機能および駅まち地域のあり方について 等

※勉強会は 2027 年度までに計 4 回開催予定。

<参 考>「駅機能のあり方勉強会」について

TX 開業から 20 年が経過し、沿線では土地区画整理事業がおおむね完了するとともに、沿線開発が堅調に進み、人口の増加とそれに伴う輸送需要も着実に伸長しています。

一方で、今後も地域や社会から愛される鉄道として進化を続けTX沿線地域が発展していくためには、地域と連携しながら沿線のポテンシャルを最大限に活かしたまちづくりや価値創造が求められています。

こうした背景を踏まえ、2024 年に実施した第一弾の勉強会では、「つくば駅」をテーマに開催し、有識者や関係者の皆さまとともに、研究学園都市の玄関口としての役割や、駅からつながる駅前や駅周辺施設に及ぶエリアに向けての連続的な駅まちづくりの取組みにおいても検討をおこないました。

以 上